

●○○○-----

○○○

●○ そらいろ通信 ~EPO-Chubu メールマガジン~161号(2022.11.8)

○

発行:中部環境パートナーシップオフィス

○

協力:環境省中部地方環境事務所

○●

○○○

-----○●○○●

♪\*♪\*♪\*

地域循環共生圏フォーラム in SUWA

「諏訪広域エリアのもり・さと・かわ・うみビジョン」

♪\*♪\*♪\*

環境省中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部）主催で地域循環共生圏フォーラム in SUWA「諏訪広域エリアのもり・さと・かわ・うみビジョン」を開催します。

詳細：<https://www.epo-chubu.jp/epo-news/17233.html>

開催日時：2022年11月23日（水・祝）13：00～17：00

開催場所：諏訪市文化センター・第2集会室（長野県諏訪市）

\*第1部のみYouTube配信あり

プログラム：

第1部（オンライン配信あり）

○ごあいさつ

環境省中部地方環境事務所環境対策課長 曾山信雄氏

○講演

(1)「森里海」の旅—いのちと水の巡り

講師：田中克氏（京都大学名誉教授）

(2) 未来の子供たちにすてきなバトンを手渡したい！—沖永良部島から—

講師：石田秀輝氏（地球村研究室代表、東北大学名誉教授、SuMPO 理事長）

○地域の取組発表

(1) 一般社団法人諏訪広域脱炭素イノベーション協会代表理事 元木誠氏

(2) 株式会社八十二銀行企画部サステナビリティ統括室長 中林武氏

(3) 東急リゾーツ&ステイ株式会社資産企画統括部 徳田圭太氏

○第1部のまとめ

長野県環境部次長 真関隆氏

第2部（会場参加のみ）

○ワークショップ

「諏訪広域エリアのもり・さと・かわ・うみビジョンを考える」

ファシリテーター：中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部）

○講評

田中克氏（京都大学名誉教授）

石田秀輝氏（地球村研究室代表、東北大学名誉教授、SuMPO 理事長）

○まとめ／今後に向けて

元木誠氏（一般社団法人諏訪広域脱炭素イノベーション協会代表理事）

申込締切：2022年11月16日（水）

問合せ：環境省 中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部）

TEL：052-218-8605 FAX：052-218-8606

♪\*♪\*♪\*

地域づくりのための気候変動社会教育

実践セミナー「脱炭素のまちづくり・人づくり ワークショップ」

♪\*♪\*♪\*

中部地方 ESD 活動支援センターは、福井県版気候変動教育プログラムを用いた実践セミナー「脱炭素のまちづくり・人づくり ワークショップ」を福井県大野市くらし環境部環境・水循環課にご協力いただいで実施します。

詳細：<https://www.epo-chubu.jp/epo-news/15899.html>

開催日時：2022年11月25日（金）13：30～16：00

開催場所：結とぴあ〔多田記念大野有終会館〕（福井県大野市）

オンライン中継有／zoomによる視聴が可能【要申込】

主な内容：

ワークショップ「ローカル SDGs のための福井県版気候変動教育プログラム体験」

○ワークショップ体験(1) 福井県版気候変動ミステリーワークショップ

24枚のカードを使って、福井県や全国、世界で起きている現象の謎解きをします。

様々な要因が複雑に絡まり合っていることを理解し、システム思考の力を養います。

○ワークショップ体験(2) 課題解決ワークショップ

福井県や大野市のデータをもとに、ジグソー法を用いて持続可能な県や市の未来像や実現のための方法を考えます。ジグソーパズルのように、様々な分野を組み

合わせた未来像を描き、実行のための方法を考えながら、未来予測、批判的思考、統合的問題解決の力を養います。

○講評・総括

○ふりかえり

ファシリテーター：水上聡子（アルマス・バイオコスモス研究所 代表）

講評・総括：佐藤真久（東京都市大学大学院環境情報学研究科 教授）

申込締切：2022年11月21日（月）

問 合 せ：中部地方 ESD 活動支援センター（環境省 EPO 中部）

TEL：052-218-8605・052-218-9073

♪\*♪\*♪\*

恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク ESD ダイアログ 2022

～自然資産を教材とした SDGs 教育とは～

♪\*♪\*♪\*

中部地方 ESD 活動支援センターは、「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク ESD ダイアログ 2022～自然資産を教材とした SDGs 教育とは～」を開催します。様々な ESD 学習活動に携わる皆様はもちろん、自然や SDGs にご興味のある方、参加をお待ちしています。

詳 細：<https://www.epo-chubu.jp/epo-news/16523.html>

開催日程：2022年11月26日（土）～11月27日（日）全2日間

\*1日目のみの参加も可能

《1日目：ESD ダイアログ》

日時：2022年11月26日（土）13：30～16：40

会場：勝山市教育会館 1階 ホール（福井県勝山市）

\*YouTube ライブ配信有 [視聴は申込不要/後日、録画の公開予定有]

主な内容：

○はじめに「自然資産とは～自然公園・エコパーク・ジオパーク」

第1部 基調報告

○「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークと ESD」

○「第12回日本ジオパーク全国大会白山手取川大会分科会（教育WG）の成果」

第2部 事例報告

○「勝山市立平泉寺小学校の ESD 活動」

○「勝山市立村岡（むろこ）小学校のESD活動」

第3部 パネルディスカッション「自然資産を教材としたSDGs教育を考える」

《2日目：エクスカージョン》

日時：2022年11月27日（日）8：30～14：30

場所：恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク ジオサイト

申込締切：2022年11月15日（火）

問合せ：中部地方ESD活動支援センター（環境省EPO中部）

TEL：052-218-8605・052-218-9073

♪\*♪\*♪\*

ローカルSDGs／地域循環共生圏セミナー@中部

「SDGs17ゴールの紐づきの先へ あなた・地域・社会の変容に向けて」

♪\*♪\*♪\*

環境省中部環境パートナーシップオフィス（EPO中部）主催でローカルSDGs／地域循環共生圏セミナー@中部「SDGs17ゴールの紐づきの先へ あなた・地域・社会の変容に向けて」を開催します。

詳細：<https://www.epo-chubu.jp/epo-news/17185.html>

開催日時：2022年12月15日（木）13：30～16：30

開催方法：オンライン（zoom）

主な内容：

○ご挨拶／環境省からのお知らせ

○EPO中部とは／本セミナーの趣旨

○基調講演

『ソーシャル・プロジェクトを成功に導く発想と技法～SDGsの本質に対応し、  
「国連・ESDの10年」の経験を活かす』

講師：東京都市大学大学院環境情報学研究科教授 佐藤真久氏

○話題提供「SDGsの我がごと化とSDGsの指標について考えてみる」

講師：中部環境パートナーシップオフィス（EPO中部）ESD責任者 原理史

○ワークショップ

「SDGsチェックリスト」を活用したローカルSDGsの我がごと化ワーキング

申込締切：2022年12月9日（金）

問 合 せ：環境省 中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部）

TEL：052-218-8605 FAX：052-218-8606

♪\*♪\*♪\*

2023年2月4日開催「SDGs 学生サミット」発表団体を募集

♪\*♪\*♪\*

中部地方 ESD 活動支援センターは、「SDGs 学生サミット」を開催するにあたり、「若者にとってのローカル SDGs」をテーマにオンラインで取組を発表していただける学生・ユースグループを募集します。

詳 細：<https://www.epo-chubu.jp/epo-news/17379.html>

募集概要：

○SDGs の取組について、代表者（指導教官など）のもとで活動している 3～5 名程度の学生・ユースグループを募集します。《最大 6 団体》

○当日は「若者にとってのローカル SDGs」をテーマにオンラインで取組を発表していただきます。

○事前に打合せとローカル SDGs 勉強会をオンラインで個別グループごとに実施します。参加者はその内容を踏まえて当日すべてのプログラムに参加していただきます。

○協力いただいている国際 GIS センター問題複合体を対象とするデジタルアース 共同利用・共同研究拠点の研究活動の一環として各種アンケート調査にご協力いただきます。

申込方法：申込は代表者の名前で行っていただき、「参加申込書」（web に掲載）に記入の上、メールで送付してください。

[送付先] [info@epo-chubu.jp](mailto:info@epo-chubu.jp)

申込締切：2022 年 12 月 10 日（土）《6 団体に達した時点で終了》

問 合 せ：中部地方 ESD 活動支援センター（環境省 EPO 中部）

TEL：052-218-8605・052-218-9073

♪ も く じ ♪

#### 【イベント関連】

1. 【愛知】第3回SDGsフェスティバル in 名古屋丸の内
2. 【愛知】第6回あいち海上の森フォーラム 2022 里山シンポジウム
3. 【富山】富山県SDGs連携推進フォーラム
4. 【愛知】藤前干潟ふれあいデー2022
5. 【愛知】国際協力カレッジ 2022
6. 【三重】みえ環境フェア 2022
7. 【三重】SDGs ミニフォーラム 2022「プラスチックについて考える！  
循環型社会へのシナリオ～みんなで話し合おう～」
8. 「おうちでBosai×Eco CAMP」実施中

#### 【ツール・コンテンツ】

1. 『脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動』  
ポータルサイトを開設

#### 【助成金・表彰等】

1. 2023年度地球環境基金助成金 募集
2. 積水ハウスマッチングプログラム 2023年度助成 募集
3. サンライズ財団助成金【第1期(2022年度募集/2023年度助成)】 募集
4. 自然保護助成基金 第8期協力型助成 募集
5. 社会貢献基金助成 募集
6. 2022年度ノエビアグリーン財団 助成事業 募集
7. 日本の国立公園フォトコンテスト 2022 作品募集
8. 2022年度全国エコ活コンクール 壁新聞・絵日記 募集
9. 第50回環境賞 募集
10. サステナアワード 2022 取組動画 募集

---

#### ♪イベント関連♪

---

1 | 【愛知】第3回SDGsフェスティバル in 名古屋丸の内

---

中部圏SDGs広域プラットフォームの主催（共催：愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市）で「第3回SDGsフェスティバル in 名古屋丸の内」が開催されます。

詳細：

<https://tcon.tokiomarine-nichido.co.jp/tcon/public/tcon2209003/html/index.html>

開催期間：2022年11月10日（木）～2023年1月31日（火）

開催場所：名古屋東京海上日動ビルディング、十六銀行名古屋ビル

主な内容：

(1)SDGs テラス《11月10日（木）～1月31日（火）》

…SDGsに取り組む企業のパネル展示、SDGs 紹介コーナーの設置など

(2)SDGs まつり《12月13日（火）10：00～16：00》

…SDGsに取り組む企業・自治体・大学等のブース展示、チャリティイベント・物産展・絵画展など

(3)SDGs セミナー&パネルディスカッション等

○12月2日（金）「脱炭素社会に向けて やるなら今でしょセミナー」

○12月13日（火）

「SDGs×スタートアップ・セミナー&パネルディスカッション」

「SDGs×地方創生・セミナー&パネルディスカッション」

「SDGs×事業創出・連携事例発表」

○1月26日（木）「SDGs de 地方創生 カードゲーム」

問合せ：東京海上日動火災保険株式会社 愛知公務金融部

TEL：052-201-2046

┌

| 2 | 【愛知】第6回あいち海上の森フォーラム2022 里山シンポジウム

└

あいち海上の森フォーラム実行委員会は、「第6回あいち海上の森フォーラム2022 里山シンポジウム」を開催します。

詳細：

<https://sites.google.com/kaisyoforum.com/kaisyoforum/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0?authuser=0>

開催日時：2022年11月13日（日）13：00から《参加無料・当日受付》

開催場所：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）11階 1103会議室

(名古屋市中村区)

主な内容：

第1部「海上の森」研究報告

第2部 特別講演

テーマ「里山の予防医学：資源の循環的利用で健康に維持」

神戸大学名誉教授・京都大学生存圏研究所 特任教授 黒田慶子氏

第3部 質疑応答・意見交換

問合せ：あいち海上の森フォーラム実行委員会

メール：[kaisyoforum@yahoo.co.jp](mailto:kaisyoforum@yahoo.co.jp)

【 3 】【富山】富山県 SDGs 連携推進フォーラム

富山県は、SDGs に取り組む企業・団体の皆様の連携を促進し、県内の SDGs の更なる推進を図ることを目的に、富山県 SDGs 連携推進フォーラムを開催します。

詳細：

<https://www.pref.toyama.jp/100202/kurashi/chihouseisei/041118sdgsforumshosai.html>

開催日時：2022年11月18日（金）13：00～16：00

開催場所：タワー111 3階 スカイホール（富山市牛島新町5-5）

参加対象：富山県内企業・団体、学生、一般県民の皆様など

開催形式：会場参加（先着100名）

主な内容：

○第一部：基調講演

「パートナーシップで進めるSDGs」～必要とされる組織・個人の変容～  
平本督太郎氏（金沢工業大学SDGs推進センター所長）

○第二部：トークセッション「SDGsをどのように推進しているのか？」

○名刺交換会

申込締切：2022年11月10日（木）17：00

問合せ：富山県知事政策局成長戦略室戦略企画課

TEL：076-444-9609 FAX：076-444-3473

【 4 】 【愛知】 藤前干潟ふれあいデー2022

---

藤前干潟は2002年11月18日にラムサール条約に登録され、今年11月に20周年を迎えます。この機会に藤前干潟で楽しめるイベントを開催します。

どなたでも、入場無料です！

詳細：<https://fujimae-higata.jp/news/202220-1.html>

開催日時：2022年11月19日（土）9：30～16：00

開催場所：【稲永会場】稲永ビクターセンター（名古屋市港区野跡4-11-2）

【藤前会場】藤前干潟活動センター（名古屋市港区藤前2-202）

内 容：記念式典、ミニシンポジウム、ワークショップ、ブース出展など

問 合 せ：藤前干潟ふれあい事業実行委員会事務局

（名古屋市環境学習センター内）

TEL：052-223-1067 FAX：052-223-4199

メール：[a2662@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp](mailto:a2662@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp)

【 5 】 【愛知】 国際協力カレッジ2022

---

独立行政法人国際協力機構中部センター（JICA 中部）は、「国際協力カレッジ2022」をオンライン開催します。前半は、中部地域を拠点として、国際協力の現場で働いている先輩3人の話を聞きます。後半は、SDGsについて理解を深め、中部地域にて活動中のNGOによる「活動紹介」を行います。

詳細：<https://nangoc.org/2022/09/24/college2022/>

開催日時：2022年12月10日（土）13：00～17：00

開催方法：オンライン（zoom）

対 象：国際協力分野に関心がある人

定 員：70名（先着順）

受付期間：2022年11月4日（金）13：00～12月6日（火）15：00

問 合 せ：特定非営利活動法人名古屋 NGO センター（事務局）

TEL：052-228-8109 メール：[info@nangoc.org](mailto:info@nangoc.org)

┌  
| 6 | 【三重】みえ環境フェア 2022  
└

三重県地球温暖化防止活動推進センターは、「COOL CHOICE：カーボンニュートラルの実現に向けて、未来のために、今選ぼう。」をテーマに、「みえ環境フェア 2022」を開催します。環境団体、企業、三重県、市町、学校等が取り組む地球温暖化防止活動や環境保全活動を紹介します。

詳 細：<https://www.mec.or.jp/index.php/ondan/>

開催日時：2022年12月11日（日）10：00～15：00

開催場所：メッセウイング・みえ（三重県津市）

問 合 せ：三重県地球温暖化防止活動推進センター

TEL：059-245-7517 FAX：059-245-7518

┌ 【三重】SDGs ミニフォーラム 2022「プラスチックについて考える！  
| 7 | 循環型社会へのシナリオ～みんなで話し合おう～  
└

三重県環境学習情報センターは、SDGs ミニフォーラム 2022「プラスチックについて考える！循環型社会へのシナリオ～みんなで話し合おう～」を開催します。

詳 細：

[https://www.eco-mie.com/sponsored\\_courses/20230109\\_sdgsminiforum/](https://www.eco-mie.com/sponsored_courses/20230109_sdgsminiforum/)

開催日時：2023年1月9日（月・祝）13：40～16：30

開催場所：三重県総合文化センター セミナー室 A（三重県津市）

内 容：

○話題提供(1)「プラスチックと資源循環型社会」

講師：三重県環境生活部廃棄物・リサイクル課職員

○話題提供(2)「海洋プラスチック問題について考える」

講師：千葉賢氏（四日市大学環境情報学部特任教授）

○グループセッション「循環型社会のつくり方」

ファシリテーター：新海洋子氏（一般社団法人 SDGs コミュニティ）

募集人数：30人（三重県在住の16歳以上）※応募多数の場合、抽選

申込締切：2022年12月12日（月）

問 合 せ：三重県環境学習情報センター

TEL：059-329-2000 FAX：059-329-2909

メール：[info@eco-mie.com](mailto:info@eco-mie.com)

## 「8」 「おうちで Bosai × Eco CAMP」 実施中

こどもエコクラブは、「おうちで Bosai × Eco CAMP」（こくみん共済 coop 連携プログラム）を実施中です。このプログラムでは、ライフラインが使えない状況を想定したアクションを行います。災害が起こるとどうなるのか、また実際に災害にあったときにどうすればいいのかを確認して、みんなで「おうちの防災リーダー」になりましょう！

詳 細：<http://www.j-ecoclub.jp/challenge/all/bosai2/>

参加対象：こどもエコクラブ

※年間いつでも登録可能（家族単位でも登録可能）。登録無料。

参加方法：

- (1) 「おうちで Bosai × Eco CAMP」ワークブックを申し込み（先着 3,000 名）
- (2) ワークブックにそってプログラムにチャレンジ
- (3) ワークブックの巻末にある活動レポートを使って、今回やってみたプログラムの感想や、あなたが考える防災・減災のアイデア、発明を文字や絵で自由に書いてみよう。

問 合 せ：こどもエコクラブ全国事務局（公益財団法人日本環境協会）

TEL：03-5829-6359 FAX：03-5829-6190

メール：[j-ecoclub@jeas.or.jp](mailto:j-ecoclub@jeas.or.jp)

---

## ♪ツール・コンテンツ♪

---

### 『脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動』

#### | 1 | ポータルサイトを開設

---

環境省は、2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を強力に後押しするため、新しい国民運動を開始します！ポータルサイトでは『脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動』に関する新着情報やイベントのレポートなどを掲載します。

詳細：[https://www.env.go.jp/press/press\\_00736.html](https://www.env.go.jp/press/press_00736.html)

ポータルサイト：[https://ondankataisaku.env.go.jp/cn\\_lifestyle/](https://ondankataisaku.env.go.jp/cn_lifestyle/)

---

## ♪助成金・表彰等♪

---

### | 1 | 2023年度地球環境基金助成金 募集

---

地球環境基金は、民間団体（NGO・NPO）が行う環境保全活動に対して毎年助成を行っています。2023年度の要望書の受付を開始します。

詳細：<https://www.erca.go.jp/jfge/>

対象団体：(1) 特定非営利活動法人

(2) 一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人、公益財団法人

(3) 任意団体（要件あり）

対象地域：日本国内、開発途上地域

対象となる活動分野：環境保全に関する幅広い分野を対象

「自然保護・保全・復元」、「森林保全・緑化」、「砂漠化防止」、「環境保全型農業等」、「脱炭素社会形成・気候変動対策」、「循環型社会形成」、「大気・水・土壌環境保全」、「総合環境教育」、「総合環境保全活動」、「復興支援等」、「その他の環境保全活動」

応募期間：2022年11月10日（木）正午～12月1日（木）13：00

問合せ：独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金部

TEL：044-520-9505 FAX：044-520-2192

メール：[kikin\\_youbou@erca.go.jp](mailto:kikin_youbou@erca.go.jp)

## 2 | 積水ハウスマッチングプログラム 2023 年度助成 募集

積水ハウスマッチングプログラムは、地域課題の解決に取り組み、「地域の幸せづくり（「子どもが幸せに暮らせる社会・環境共生社会」を実現）」に寄与するとともに、積水ハウスグループとの連携・協働の可能性のある団体に助成します。

詳細：<https://www.sekisuihouse.co.jp/matching/>

助成の種類：団体助成、プロジェクト助成のいずれか一方を選んで申請。

○団体助成（60 団体程度）…「こども基金」「環境基金」に関わる地域・社会の課題に取り組む団体に対して助成。

○プロジェクト助成（20 件程度）…申請プロジェクトに対して助成。

応募期間：2022年10月17日（月）～12月8日（木）13時必着

\*助成申請には、積水ハウスグループ従業員からの推薦が必須となります。

《推薦依頼の期日：2022年11月28日（月）まで》

問合せ：[協働事務局] 社会福祉法人大阪ボランティア協会

TEL：06-6809-4901 FAX：06-6809-4902

メール：[sekisuihouse-matching@osakavol.org](mailto:sekisuihouse-matching@osakavol.org)

## 3 | サンライズ財団助成金【第1期(2022年度募集/2023年度助成)】募集

サンライズ財団助成金では、第1期（2022年度募集/2023年度助成）の対象となる団体を募集しています。2022年に立ち上げた、地域に根付いて環境保護・環境保全に取り組んでいる団体への助成制度です。ぜひご応募ください。

詳細：<https://www.philanthropy.or.jp/sunrise/>

対象団体：

- 1) 2022年9月末時点で公益法人、NPO法人または非営利の一般社団法人、一般財団法人として、環境保護・環境保全の活動実績が3年以上あること。
- 2) 助成対象となった事業の実施状況および収支状況について適正に報告できること。

対象事業：

○環境保護・環境保全関連の事業

- (1) 里山・森林・緑化整備運動
- (2) 水・河川環境保全活動
- (3) 沿岸域の環境保全活動
- (4) 生態系保護活動
- (5) 地域環境整備活動
- (6) 環境教育・啓発活動

○2023年4月1日から2024年3月31日までの間における1年間の事業

助成総額：700万円（上限：1団体につき100万円）

募集期間：2022年10月11日（火）～12月9日（金）

問合せ：「サンライズ財団助成金」事務局

公益社団法人日本フィランソロピー協会内

TEL：03-5205-7580 FAX：03-5205-7585

#### | 4 | 自然保護助成基金 第8期協力型助成 募集

自然保護助成基金の協力型助成は、助成金を提供するにとどまらず、独自の視点やネットワークを生かし、継続的な連携も視野に入れ、採択団体とともにプロジェクトの目標達成を目指していく助成プログラムです。

詳細：<https://www.pronaturajapan.com/index.html>

助成カテゴリー

○国際NGO助成

世界各地の自然保護問題の解決のため、海外の地域において様々なステークホ

ルターと接点を持ち、活動実績のある NGO 団体が行う自然保護活動に対する助成

○学協会助成

日本国内の学協会における、自然保護問題を取り扱う委員会あるいはワーキンググループが行う自然保護活動に対する助成

○国際的プログラムに関する助成

国際的な自然保護プログラム（世界自然遺産、ユネスコエコパーク、世界/日本ジオパーク、ラムサール条約登録湿地、世界/日本農業遺産など）に登録されている（あるいは登録を目指している）国内の地域における、自然環境保全活動に対する助成

助成金額：1 件あたり上限 100 万円／年

募集期間：2022 年 10 月 3 日（月）～2023 年 1 月 5 日（木）

問 合 せ：公益財団法人自然保護助成基金

TEL：03-5454-1789 FAX：03-5454-2838

メール：[office@pronaturajapan.com](mailto:office@pronaturajapan.com)

┌

| 5 | 社会貢献基金助成 募集

└

一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会の社会貢献基金では、地域の種々の災害の救済、社会福祉事業、環境保全事業、国際協力など社会貢献活動を行う各種団体等への助成を行っています。

詳 細：<https://www.zengokyo.or.jp/social/fund/support/content01/>

対象団体：非営利組織（財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO 法人、その他任意団体、市民ボランティアグループも対象）

\* その他条件は詳細をご確認ください。

対象事業：

- (1) 高齢者福祉事業
- (2) 障がい者福祉事業
- (3) 児童福祉事業
- (4) 環境・文化財保全事業
- (5) 地域つながり事業

助成金額：総額およそ 1,000 万円（1 件当たりの助成額上限は 200 万円）

募集期間：2022年10月1日～2023年1月末日（必着）

問 合 せ：一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会  
社会貢献基金 運営事務局  
TEL：03-3596-0061

「  
| 6 | 2022年度ノエビアグリーン財団 助成事業 募集  
」

---

公益財団法人ノエビアグリーン財団は、日本を代表するジュニアスポーツ選手の育成、また、心身ともに健全な児童、青少年の育成に寄与することを目的として、2022年度助成事業の一般公募を開始します。

詳 細：<https://www.noevirgreen.or.jp/>

応募資格（団体）：

児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、およびスポーツの振興に関する事業を積極的に行い、または奨励している下記(1)～(9)の分野に当てはまる団体

- (1) スポーツ体験活動
- (2) ジュニアアスリート選手育成活動
- (3) 自然体験活動
- (4) 科学体験活動
- (5) 地域に根ざした子供たちへの支援活動
- (6) 障がいのある子供たちへの支援活動
- (7) 自然災害等による被災地の子供たちへの支援活動
- (8) 児童養護施設の子供たちへの支援活動
- (9) その他の体験活動

応募期間：2022年12月1日（木）9：00～2023年2月28日（火）正午12：00

問 合 せ：公益財団法人ノエビアグリーン財団事務局  
TEL：03-5568-0305 FAX：03-5568-0441  
メール：[info@noevirgreen.or.jp](mailto:info@noevirgreen.or.jp)

「  
| 7 | 日本の国立公園フォトコンテスト 2022 作品募集  
」

---

環境省は、東京カメラ部株式会社と連携し、“物語に会う。日本の国立公園”をテーマとしたフォトコンテストを開催します。日本の国立公園ならではの景観・環境や地域の伝統文化が伝わる写真など、物語を感じられるような魅了あふれる情景を募集します。

詳細：[https://www.env.go.jp/press/press\\_00115.html](https://www.env.go.jp/press/press_00115.html)

応募テーマ “物語に会う。日本の国立公園”

応募期間：2022年6月30日（木）～11月22日（火）

キャンペーンサイト：

<https://nationalparks.tokyocameraclub.com/contest2022/>

「  
| 8 | 2022年度全国エコ活コンクール 壁新聞・絵日記 募集  
」

---

子どもエコクラブ全国事務局（公益財団法人日本環境協会）は、2022年度「全国エコ活コンクール」を実施します。エコ活動の成果や感じたこと・気づいたことを壁新聞や絵日記にまとめて応募してください。

詳細：<http://www.j-ecoclub.jp/topics/info/202210132300.html>

応募対象：全国の子どもエコクラブ

全国の環境活動をしている子どもたちのグループ、個人

募集内容：

〔壁新聞部門〕

日頃のエコ活動をまとめた壁新聞 ※クラブ単位で作成

〔絵日記部門〕

「みんなに伝えたいエコ活動」

「これからやってみたいエコ活動」

「エコ活動で地域をこんな風にしたい」などの絵日記 ※個人単位で作成

募集期間：2022年10月1日（土）～2023年1月13日（金）

問 合 せ：こどもエコクラブ全国事務局（公益財団法人日本環境協会）

TEL：03-5829-6359 FAX：03-5829-6190

メール：[j-ecoclub@jeas.or.jp](mailto:j-ecoclub@jeas.or.jp)

┌  
| 9 | 第 50 回環境賞 募集  
└

---

「環境賞」では環境保全や環境の質の向上への貢献が認められる成果、または貢献が期待される成果をあげた個人、法人、団体・グループ等を表彰します。

詳 細：<https://biz.nikkan.co.jp/sanken/kankyo/entry.html>

応募資格：環境保全や環境の質の向上への貢献が認められる成果、または貢献が期待される成果をあげた個人、法人、団体・グループ等

対 象：

環境に関する調査、研究、技術・製品開発、活動等で画期的な成果をあげ、または成果が期待されるものであって、環境賞の目的にふさわしいものとする。

- ・低炭素社会の構築に関するもの
- ・生物多様性をはじめとする自然環境の保全に関するもの
- ・循環型社会の形成に関するもの
- ・大気環境、水環境、土壌環境等の保全に関するもの
- ・化学物質の環境リスクの評価・管理に関するもの
- ・環境への取り組みによる災害の防止および減災に関するもの
- ・その他、環境保全や環境の質の向上に関するもの

募集期間：2022年11月1日（火）～2023年1月10日（火）

問 合 せ：環境賞事務局（日刊工業新聞社日刊工業産業研究所）

TEL：03-5644-7117 FAX：03-5644-7294

メール：[kankyo@nikkan.tech](mailto:kankyo@nikkan.tech)

┌  
| 10 | サステナアワード 2022 取組動画 募集  
└

---

「あふの環（わ）2030 プロジェクト」（農林水産省、消費者庁、環境省連携）  
では、サステナアワード 2022 を実施します。

詳細：[https://www.env.go.jp/press/press\\_00678.html](https://www.env.go.jp/press/press_00678.html)

応募テーマ：食と農林水産業に関する、持続可能な消費、環境との調和、脱炭素、  
生物多様性、資源循環などのサステナブルな取組。

応募資格：食と農林水産業のサステナビリティに関心のある団体。企業、学校、  
NPO、自治体、地域コミュニティなど、プロ、アマ、年齢等は問いません（個人  
は除く・未成年は保護者等の了解を得た上で応募すること）。

応募期間：2022 年 10 月 3 日（月）～11 月 30 日（水）

問合せ：サステナアワード 2022 事務局（農林水産省）

TEL：03-6744-2016 メール：[SCAFFF@maff.go.jp](mailto:SCAFFF@maff.go.jp)

---

【本メールマガジンについて】

本メールマガジンは、転送自由です。

○申込・解除：<https://www.mag2.com/m/0000233904.html>

○バックナンバー

そらいろ通信 ～EPO-Chubu メールマガジン

<https://www.epo-chubu.jp/mail-magazine>

---

発信元：環境省中部環境パートナーシップオフィス (EPO 中部)

中部地方 ESD 活動支援センター

TEL：(EPO) 052-218-8605 / (ESD) 052-218-9073

FAX：052-218-8606

メール：[info@epo-chubu.jp](mailto:info@epo-chubu.jp)

URL：(EPO) <http://www.epo-chubu.jp>

(ESD) <http://chubu.esdcenter.jp/>

〒460-0003 名古屋市中区錦 2-4-3 錦パークビル 4F

---